

環境債（グリーンボンド）への投資について

大阪商工信用金庫（理事長 多賀 隆一）は、2025年7月16日（水）に「兵庫県令和7年度第3回公募公債（グリーンボンド・5年）（以下「本債券」）」に投資したことをお知らせいたします。

「グリーンボンド」とは、環境改善効果を有するプロジェクトに充当先を限定した資金調達のために発行される債券です。本債券のフレームワークは、国際資本市場協会（International Capital Market Association：ICMA）が定義する「グリーンボンド原則 2021」、および「環境省グリーンボンドガイドライン 2024年版」への適合性について、株式会社日本格付研究所から検証を受けており、最上位である「Green1(F)」の評価を取得しています。

本債券の発行による調達資金は、兵庫県が取り組む地域の個性を活かしたSDGsの達成に資する下表のグリーン化事業に充当されます。

分類	事業内容
汚染防止および抑制 再生可能エネルギー	➤ 下水汚泥広域処理場整備事業 (下水汚泥を利用したバイオガスの生成・固形燃料化)
エネルギー効率 再生可能エネルギー	➤ 県有施設の照明のLED化・空調設備の更新・太陽光発電設備の導入
気候変動への適応	➤ 治水対策の推進を目的とした河川改修 ➤ 土砂災害対策のための治山・砂防・土砂対策等 ➤ 豪雨災害時に備えた法面防災対策 ➤ 豪雨時の防災・減災対策を目的としたため池防災対策 ➤ 高潮対策のための防潮堤の嵩上げや胸壁整備 ➤ 排水機場、農業用排水路などの農業生産基盤の整備
生物自然資源および 土地利用に係る環境持続型管理	➤ 土砂災害防止や温室効果ガスの吸収に資する森林整備 ➤ 森林整備に必要な林道整備 ➤ 環境創造型農業の推進にかかる施設整備 ➤ 魚礁などの漁業関連施設、魚道などの河川環境の整備
陸上および水生生物の多様性の保全	➤ コウノトリの生息環境整備（ため池の浅瀬やビオトープの造成）

当金庫は、地域社会の発展に貢献する理念のもと、SDGs（持続可能な開発目標）の趣旨に賛同することを宣言しています。その取り組み方針のひとつとして、ファイナンスを通じて環境課題解決の自律的好循環を支える役割を担いたいと考えています。

今後もこうした取り組みを通して、地域金融機関として社会的使命を果たしてまいります。

〈本債券の概要〉

銘柄	兵庫県令和7年度第3回公募公債（グリーンボンド・5年）
発行額	150億円
発行日	2025年7月16日

* 本事業の詳しい内容につきましては、下記までお問い合わせください。

お問い合わせ
大阪商工信用金庫 広報CSR室 TEL 06-6267-2865

以上